

キャラクター名
ユーリー・チェルノフ

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	神父
	モルフェウス					
オプション	ノイマン		年齢	50	性別	男
覚醒	素体	衝動	殺戮	初期侵食率	34	%
出自	姉妹	経験	大失態	邂逅	借り	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	2	1	2			5	行動値	8
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	8
精神	2	0	0			2	戦闘移動	13
社会	1	0	0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	7		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:UGN2	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
銃剣(インフィニティウェポン)	白兵	5r+7	3	Lv+7		インフィニティウェポンで作成
コンボ: AMEN!	白兵	5r+4		18		①+③。マイナーで②+④使用
コンボ: 汝らは何ぞや?	白兵	5r+7		-		①+⑤。命中後トループを戦闘不能に
コンボ: AMEN!	白兵	5r+5		26		①+③+⑧、100%↑。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: UGN幹部	
携帯電話	
情報収集チーム	
コネ: 情報屋	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
Dロイス: 業師	P	N		
ヨハン・C・コードウエル	P 執着	N 敵愾心		
御稿 静留	P 信頼	N 偏愛		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:ウロボロス	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-Lv(下限値7)							
インフィニティウェポン	4	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	武器を作成							
原初の青: 斥力跳躍	1	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	戦闘移動+[Lv*2]mで移動							
ダブルクリエイト	★	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	作成武器を二つにする							
原初の赤: 鮮血の一撃	3	3	メジャー	武器	-	白兵	-	
効果:	ダイス+[Lv+1]個。HP2消費							
マルチウェポン	1	3	メジャー	武器	-	白兵	-	
効果:	武器二つの攻撃力合計。達成値-[5-Lv]							
咎人の剣	2	4	メジャー	武器	-	白兵	リミット	
効果:	攻撃力+[Lv*4]							
クリスタライズ	3	6	メジャー	武器	-	白兵	Dロイス100↑	
効果:	攻撃力+[Lv*3]。装甲無視。シナリオ3回							
ギガンティックモード	1	3	メジャー	武器	範囲(選択)	白兵	-	
効果:	対象を範囲(選択)に変更。プロセス終了時作成武器破壊							
ファンアウト	1	4	セットアップ	至近	範囲(選択)	自動	-	
効果:	戦闘移動を行う(自身を含まない)。シナリオLv回							
イージーフェーカー	★	3+1						
効果:	取得: ディメンションゲート							
コウモリの耳	★	-						
効果:								
効果:								

UGN研究施設出身の実験体。対ジャーム殲滅を目的とした実験過程で見事生き残った成功体。だが、マスターエージェント“ヨハン・C・コードウエル”に襲撃、壊滅させられる。しかし、どういふわけかヨハンに情けをかけられ奇跡的に生き残った。その後、近くの教会に匿われ、その恩に報いる形で神父となる。UGNに帰還後、ジャームやFHに対する憎悪がさらに増し、見敵必殺を心情とするようになった。因みに教会で神父をしているときは普通にやさしい人で、シスターの御稿不二乃とは教師と教え子のような関係。健気な彼女の背中をいつも見守っている。不二乃との出会いはある任務でUGN評議会の穏健派の議員が裏でFHと取引をしているという情報を聞き、その研究施設及びその裏切り者の評議員を殲滅。それを当時幼かった不二乃に目撃される。不二乃「…あー、死にましたね。」ユーリー「……………この屑どもの娘か」不二乃「…だが、私は貴方によって救われました、これはどうしてでしょうか、祈りの結果でしょうか、何もしていなかった自分への裁きでしょうか。」ユーリー「否、これは試練だ。残されたお前に神が与えたもうた」不二乃「…ならば、受け入れましょう、私には、それが一番正しく見えます。」ユーリー「……………ならばどうする?お前の両親を殺した俺に復讐を誓うか?それとも誰にも知られず一人で生きながらえるか?」不二乃「貴方の殺人は、間違っていないでしょう、貴方に付いて行けば、道が見える気がします。」ユーリー「……………ははははは。」>不適に笑う「ならば着いて来るがいい。俺がお前を導こう、神の使徒としての道に」不二乃「はい、喜んで。」その日から、ユーリーは不二乃をカトリック信者として育て、その成長する様子をじっと見守っている